

セキュリティライブラリ及びセキュリティ管理手法とは

株式会社ケイシステムマネジメントのセキュリティライブラリ及びセキュリティ管理手法（以下「セキュリティライブラリ等」）についてご説明します。

セキュリティライブラリ

セキュリティライブラリは、セキュリティ上の問題発生が想定できる部分（入出力、認証関係<ICカード・証明書>等）毎に、セキュリティ処理を共通化したソフトウェアライブラリ（以下「ライブラリ」）です。

- 入出力管理
- 認証管理
- 表示処理
- SQL呼出処理
- セッション管理
- リダイレクト処理
- クッキー管理
- ファイルアクセス管理
- OSコマンド呼出処理
- ファイルアップロード処理
- 証跡管理

システムの開発・メンテナンスは、次のセキュリティ管理手法を有効に機能するために、セキュリティライブラリを使用したコーディングを必要とします。

セキュリティ管理手法

近年の情報システムへの攻撃手法の進歩に伴い、クライアント、サーバ、ネットワーク、業務システム等、単体での防御手法では、不可能若しくは非効率的になってきています。

このため、以下の各対策は、相互依存して日々改良されており、最適な方法（時間・コスト）を選択することでセキュリティを確保しています。

- クライアント（OS、ライブラリ、アプリケーション）のセキュリティ対策
- サーバ（OS、ライブラリ、アプリケーション）のセキュリティ対策
- ネットワークのセキュリティ対策
- 業務システムのセキュリティ対策
- セキュリティライブラリの適正な管理・運用
- コーディング及びコーディングルールの適正な管理・運用